

令和7年4月

令和7年度 学校経営方針

砧の学び舎 世田谷区立砧中学校
校長 加藤敏久

1 教育目標

『寛容な心と想像力、未来のグローバル人材を育てる砧中学校』

- (1) 人権感覚を高め、キャリア発達を促して健やかな心身を醸成する
- (2) 集団生活での責任感と寛容な心、多様な人と協働する態度を養う
- (3) 個々の学力の充実を図り、高次に探究する習慣を身に付けさせる

2 重点目標

基本理念 『生徒を伸ばし、生徒を支え、未来に備える』

- (1) 日々授業改善を行い、学習指導をより充実することで、基礎的・基本的な知識・技能の習得やその活用力と探究力、体力の向上を図る。
- (2) 多様な体験活動の実践を通して自己理解力と他者理解力を向上させ、地域社会への参画意識を高め、広く社会に貢献しようとする態度を養う。
- (3) 多様性と包摂性を尊重した人権教育・平和教育を進め、多様化・国際化が進む社会を協働して生きる考え方とスキルを身に付けさせる。

3 学習指導

○語学力と ICT 活用スキルを生かした探究的・協働的な学びを推進する。

- ・教師の解説時間と生徒主体の活動時間のタイムマネジメントをする。
- ・非認知能力の伸長について、学び舎で研究する。
- ・習熟度に応じた学習内容の提供、個別最適化と評価の適正化を図る。
- ・読書活動、NIE と併せて、GIGA スクールを確実に推進する。
- ・探究や「調べ学習」で学校図書館の利活用を計画、実施する。
- ・英語力のさらなる向上に資するプログラムを進める。
- ・SDGs と関連付けた現代社会や地域の課題を解決する学習を行う。
- ・「礼儀」「感謝」「思いやり」「寛容」「国際理解」を重点にした道徳教育を実践するとともに、授業力の向上を図る。

4 生活指導

○多様な価値観やちがいを受け入れ、個性やよさを伸ばす指導を継続して安心感と自信を持たせ、自己肯定感を高めて、いじめを防止する。

- ・自他の人権を尊重すること、相手への寛容さやリスペクトすることを最優先とする意識を育て、選択すること、協力することの楽しさを味わわせる。

NIE : Newspaper in Education (教育に新聞を) 実践指定校

SDGs : Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)

JRC : Junior Red Cross (青少年赤十字)

- ・あいさつの励行、ボランティアの推奨、校則の見直しを継続するとともに、生徒の声を聴く機会を設定し、生徒の主体性や充実感の育成を図る。非行対応や罰則よりも日常の教育相談を優先する意識を持つ。
- ・通常の学級と特別支援学級によるインクルーシビティと協働、合理的配慮、不登校対応を積極的に実現するとともに、共感力を高め、家庭との連携や情報共有を適切に行う。

5 進路指導

- 令和の時代の職業の変化、職に対する価値観や働き方の変容を視野に入れたリアルタイムな教育活動を展開する。
- ・キャリアパスポートの積極的活用により、なりたい自分になるための支援を生徒に寄り添い指導する。
- ・未来の仕事やスタートアップ等も導入するなど、大学や地域社会と連携したキャリア教育プログラムを展開、研究する。
- ・生徒会活動、学校行事への生徒のより主体的な参画と運営を支援、実現する。特に、アメリカのポートランドやスリランカなど外国の生徒との交流及び JRC 加盟も進める。
- ・ボランティアや地域行事等に参加することで社会とかかわり、貢献した体験を奨励し、「キャリア・未来デザイン教育」を推進する。
- ・学習の評価・評定は、絶対評価の意義を理解し、計画と根拠の明示により、適正で信頼性の高い評価、認め励ますことで学習意欲を高める評価を目指す。減点法から加点法へのシフトチェンジをいっそう進める。

6 学校における働き方改革

- ・教育活動と時数を精査する。部活動を実施しない日や採点集中日、午後ノー授業デー等を年間計画に位置付ける。
- ・教育 DX を積極的に進め、ペーパーレス及び会議の効率化と改善を行う。
- ・運動会における生徒の体力と熱中症対策も視野に入れたプログラムの実施など、学校行事の見直しを進める。
- ・月一回程度、若手 OJT 研修会を校内で実施する。